

横浜国立大学経営学部
「ビジネス・キャリア教育プログラム」
と起業家教育

横浜国立大学経営学部教授
井上 徹

ビジネスキャリア教育とは？

経営学部の教育は、広い意味では、学生のビジネスキャリアに資する教育

ここで言うビジネスキャリア教育とは

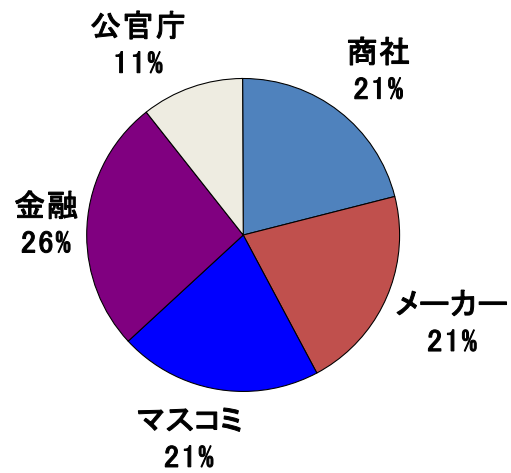
学生のビジネスキャリア形成を意識した教育

☆アントレプレナーシップ

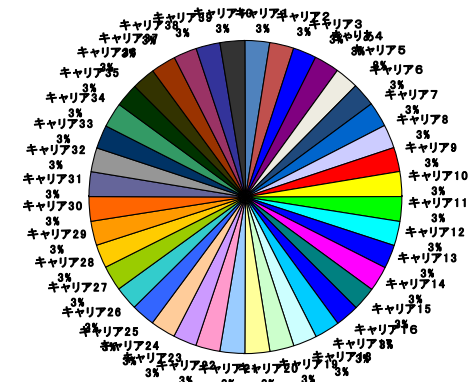
☆企画力・発信力・実現力の養成

ある起業家の大学入学前の違和感

我校OB・OGの進路グラフ



我が校OB・OGの進路グラフ



学部生1200人以上もいるのに……？！

ビジネス・キャリア教育プログラムの4つの柱

「気づく」: 経営者・創業者など、実業界からの多様な講師による講義形式の授業科目、「経営者から学ぶリーダーシップと経営理論」「ベンチャーから学ぶマネジメント」起業家精神・経営者のマインドに触れ、自らの将来の展望を考える「気づき」となることを期待している。経営学部インターンシップの前提科目であり、例年400名前後が受講している。「経営者から学ぶリーダーシップと経営理論」で、まずSpiritを、「ベンチャーから学ぶマネジメント」では、Spiritに加えてWayを、という構成である。プログラムと学生の感想は→ <http://www.business.ynu.ac.jp/contents/intern/>

「磨く」: 自らのアイデアを「磨く」授業。「マイ・プロジェクト・ランチャー」講師と少人数の学生による自己学習・相互啓発的な形式で、各人がプロジェクトのアイデアを考え、ブラッシュアップし、プロジェクト化する。

「経験する」: 専門科目経営学部インターンシップは、中長期・実践型インターンシップであり、最大6単位を単位認定している。ビジネスの現場で「働く」実践体験から学び、大学での学びにフィードバックしながら、キャリア形成に資する効果を期待している。毎年20～30名の学生が実践を通じた「学び」を行っている。

「創り出す」: YNUビジネスプラン・コンテスト Y1: 学生の創造性と企画力、プレゼンテーション能力を養うことを目的として、ビジネスプラン・コンテストを開催している。

もう一つの特徴

企画・運営への学生の積極的参加

「経営者から学ぶリーダーシップと経営理論」、「ベンチャーから学ぶマネジメント」: 学生スタッフは、授業における補助業務のみならず、企画段階から主体的にかかわっている。すなわち、「誰のどのようなお話をお聞きしたいのか」、「講演者の構成をどのようにした方がよいのか」などについて、担当教員と学生スタッフが話し合い、講演を依頼させていただく候補者を決定している。また、学生が発案した講演候補者の方については、学生スタッフが、講演の依頼・交渉を行っている。

「ビジネスプラン・コンテスト in YNU」は、学生実行委員会主催で行っており、企画・運営ともに学生のイニシアチブを尊重して行っており、運営については基本的に学生実行委員会が主体となって行っている。

「経営者から学ぶリーダーシップと経営理論」20、21年度講演者

ワーク・ライフバランス代表取締役 小室 淑恵氏

(株)オウケイウェイヴ代表取締役社長 兼元謙任氏

(株)デジサーチ・アンド・アドバタイジング 代表取締役 黒越誠治氏

(株)ガイアックス代表取締役社長 上田 祐司氏

* パークコーポレーション代表取締役 井上 英明氏

* エルピーダメモリ株式会社 代表取締役社長兼CEO 坂本 幸雄氏

* 高知県安芸郡馬路村村長 上治 堂司 氏

株式会社ピースマインド 代表取締役社長 荻原 国啓 氏

スリープログループ株式会社 代表取締役社長 高野 研 氏

(株)アイデアインターナショナル代表取締役 橋本 雅治氏

(株)ビジネスバンク 代表取締役 浜口 隆則氏

* は、学生が発案・交渉。

「ベンチャーから学ぶマネジメント」19、20年度講演者

株式会社オプティワ 代表取締役 岩越 尚樹 氏

AJI株式会社 代表取締役 吉田 邦夫氏

NPO法人YUVEC 理事 小泉 誠二氏

ジェイ・コーチグループ 代表取締役社長(当時) 山崎哲男氏

* 株式会社ピーチ・ジョン 代表取締役社長 野口美佳氏

株式会社吉岡精工 代表取締役 吉岡 優氏

* オイシックス株式会社 代表取締役社長 高島宏平氏

タイジ株式会社代表取締役社長 堀江 裕明氏

株式会社TNPツナミ・ネットワークパートナーズ取締役社長

呉 雅俊氏

株式会社メディアグローバルリンクス代表取締役社長 林 英一氏

株式会社ケイエスピー(かながわサイエンスパーク)取締役(当時)

志茂 武氏

* 株式会社 ペリエ 代表取締役 和田裕美 氏

* は学生が発案・交渉。

学生の感想(抜粋) 学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ1

4月28日 ワーク・ライフバランス代表取締役 小室 淑恵氏

「やりたくない仕事を120%で成果を出す」という意識は、今の私にはない考えでした。言葉で言うには、簡単だと思うけど、実際に、自分のやりたくないような仕事で100%成果を出すだけでも、難しいことだと思います。それを実践した小室さんの能力であり、努力は素晴らしいと思います。けれど、意欲次第では、私自身にも可能であると気付きました。15年後に、高齢者が増え、男性が介護救護を取るという現実は、私にも深く関係していることであり、今日、話を聞いて、本当に参考になりました。女性目線の話は、男の私にも通じるものがあり、仕事に対するものの見方が、今日、変わりました。ありがとうございました。(経営学部 経営学科 1年)

7月14日 (株)ビジネスバンク 代表取締役 浜口 隆則氏

「何もしないことにリスクがある」という言葉が非常に印象に残りました。というのも、そういったところを感じる事がたびたびあるからです。やはり、後悔することがないようにできたらいいなと、今日改めて思いました。また、他人に感謝し、感謝されもするような人間を目指したいとおもいました。(経済学部 経済システム学科 1年)

学生の感想(抜粋) 学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ2

10月14日 株式会社オプティワ 代表取締役 岩越 尚樹氏
岩越様。大変興味深い講義ありがとうございました。工学部の自分には始めて聞く言葉も多かったのですが、英語の話や、米国のStart-upsの話など非常に興味をそそられました。おそらく自分は技術屋になると思いますが、経営マネジメント技術の必要性も感じました。また経営学にも興味が出てきました。日本人の価値観を改めなくてはならないと感じました。私もまずは大企業に入り、自分を高めていきたいと思います。(工学部物質工学科1年)

12月16日 株式会社メディアグローバルリンクス 代表取締役社長 林 英一 氏
11/28に御講演いただいた吉岡さんの時と同じで、請負からスタートのMGLということでしたが、会社が成長していく上での類似点がたくさんありました。まず、耐えて技術力(会社の自力)をつけることです。これがあるとリスクを負うことに会社が耐えられるようになるのだと思います。もう一つは失敗を生かすということです。たとえば、マーケティング不足を感じたことから営業部を設立し、原価などで失敗したことから生産管理システムを作り、バグが起こったことから品質管理システムを作りました。失敗から自分たちに足りないものを見つけ出し、補っていく、そうすることで社会の環境に順応していくんだと思いました。その指標になるのは中長期的な会社のビジョンなので、それも大事だと思いました。(経済・経済システム1年)

「マイ・プロジェクト・ランチャー」 シラバス

マイ・プロジェクト・ランチャー 後期 木曜5限 配当年次 1～4年

My Project Launcher

担当 井上 徹 伊藤淳司

【授業の目的】

この授業の目的は、自ら発見した課題をプロジェクト化する能力と、そのプロジェクトを自らマネージする能力を養成することを目的とする。その過程では、プロジェクトに必要な調査を行い、発表し、討論し、相互にブラッシュアップを行い、プロジェクトを実践することも視野に入れる。

【授業の方法】

少人数(5, 6人)のグループによるディスカッションを中心とする。ディスカッションにはファシリテーターが参加し、必要に応じてアドバイス・ヒントを提供する。また、参加者全員を対象にした講義、全員参加の発表会を数回行う。

【授業の概要】

第1回 ガイダンス グルーピング

第2～5回 プロジェクト作成(第1次)とプレゼンテーション 必要に応じて講義

第6～11回 調査 グループ内での検討・ブラッシュアップ 可能な場合は実践

第12～15回 発表会(プロジェクト報告会) プロジェクト報告書の作成・提出

マイプロ 例1

横浜の野菜を使った 1日地産地消レストラン

～農業都市横浜の魅力～



経営学部経営学科1年

「横浜の農業」活性化プロジェクト

1. 「1日地産地消レストラン」を引き続き、定期的に行う。

次回は8月頃に夏野菜を使って、カフェ形式で営業する予定。

場所はセンター南駅にある、地域のコミュニティハウス「えだきんパーク」内のカフェを予定。

2. 保土ヶ谷区の遊休地、または大学の構内で、横浜国大ブランドの野菜を栽培する。

大学内の食堂で出た残飯を堆肥化し、その肥料を用いて無農薬栽培を行う。

そして、収穫された野菜を食堂で使ってもらう。

地元の農家、横浜市環境創造局、JA横浜と連携してプロジェクトを進めていく。

1日地産地消レストラン「HAMA」趣旨

- 地場野菜を使った料理を提供することで、横浜の農産物をPRし、都市農業に関する理解を深めてもらう。
- 主に冬野菜を使った料理を提供することで、旬の野菜のおいしさを知ってもらう。
- 横浜は「港町」のイメージが強いが、「農業都市ヨコハマ」として、新たな横浜の魅力を知ってもらう。

メニュー



- HAMAスペシャルセット(100食限定)
値段 980円 (原価557円/原価率57%)
 - 小田原産ライ麦のパン(湘南小麦も使用)
 - はまぽーくと横浜で採れた冬野菜のポトフ
 - 手作りパンナコッタ 小松菜とキャベツワインのソース & 横浜育ちのイチゴ旬の都筑野菜を使った新鮮サラダ添え

※ドリンクは無料でサービス

お客様の声（アンケートより一部抜粋）

- 横浜や県内の食材でこんなにおいしくできるとは……。発見でした。
- ポトフは野菜の味が生かされ、とても良かった。パンナコッタの味もとても良い。
- 1日限りのオープンで残念です。またの企画を期待しています。次回は子供達と一緒にいきたいです。
- おいしかったです。横浜で野菜が作られてることを知る良い機会でした。また、同じ大学生が企画運営しているということで、刺激を受けました。

「横浜の農業」活性化プロジェクト

3. 農家の方を地元の小学校にお呼びし、「食育」の授業をコーディネートする。
農家の生の声を聞くことで、小学生の内から日本の農業に関心を持ってもらう。
4. 本プロジェクトの取り組みを紹介するブログを開設。
ブログで本プロジェクトの成果を発信する。
例えば、一日レストランの宣伝や、野菜の発育状況を報告したりする。
また、地元で頑張っている農家取材し、ブログで紹介する。

「地域活性化レストラン」 効果

- レストランという営業形態をとることで、そのレストラン目当ての観光客を地方に呼ぶ。
- このレストランを中心に、食文化、農業、伝統産業など、地域を活性化させる。



「食」を中心としたまちづくり

マイプロ 例2

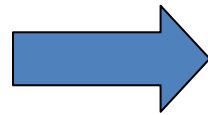
横浜国大エコカープロジェクト



経営学部 0733052

太陽光発電のパネルを大学に取り付けるとい
うことができれば、環境に貢献できると思いま
した。しかし、それだけでは、面白みがありま
せん。そこで、大学に電気自動車を導入して、
その車に使う電気を普通に充電するのでは
なく、太陽光発電パネルで充電しようと思いま
した。これにより、この大学の車は、電源に関
して、自給自足であり、しかも、エネルギーを
作る過程、使う過程でCO₂を出しません。

- つまり、現在横浜国立大学で、使われている横国の公用車は、普通の乗用車であるが、「この公用車を、電気自動車メーカーや太陽光発電装置メーカーと連携して、横浜国大の太陽光発電による電気を使った電気自動車に変えてしまおう」というのが、この計画です。



- 横浜国立大学のソーラーカー導入のメリットとしては、大学で作った電気で動くCO2を出さない環境に優しい車によって、環境への先進的な取り組みができるということです。
- 電気自動車メーカー側のメリットとしては、公用車には、そのメーカーが認知されるような内容を貼り付けます。実用実験もしてもらいます。そして、エコ発電をして、エコカーで走るという、新しい環境への貢献活動をしているイメージも、横国と同時に世間に持たせることができると思っています。

経営学部インターンシップ: 専門科目 現在は最大6単位を認定

- ・経営学部インターンシップ: ビジネスの現場で、内実を伴った仕事を行った場合、その実務経験を教育の一環と位置づけ、授業科目として評価するもの。
- ・中・長期型かつ実践型のインターンシップ

なぜインターンシップを行うのか？何を期待しているのか？

- ・大学では教えにくいこと、体験して学ぶ方がよいこと、がある。
- ・実際のビジネスに主体的に関わり、企業・ビジネスの現実を知ることの意義。
 - 必要とされる知識・スキル、基本的なマナー、あるいは、主体的に働くと言うことがどのようなことなのか、実際に営業に行くということがどういうことなのか、企画を立てると言うことがどういうことなのか、を実体験から学ぶ。
- ・インターンシップを経験することによって、大学で行われる講義の内容を、「生きたもの」、「活かせるもの」として捉えてもらう。

* 理工系大学院生のインターンシップでは、専門知識を活かし、自らの研究とリンクできるケースも多いと思われるが、社会科学系学部のインターンシップは、むしろ「学び」「修行」の要素が大きい。

経営学部インターンシップの実績

2004年度 15名

2005年度 21名

2006年度 24名

2007年度 20名

2008年度 18名

今後の課題

- ・インターンシップ参加者の拡大
- ・インターンシップに関する情報の共有・交換の仕組み
- ・事前指導の充実
- ・事後指導・インターンシップ経験のフィードバックの充実
- ・インターンシップから得られた経験・知識の共有・交換の仕組み
- ・キャリア教育プログラムの整備・拡充・実施
- ・企業との連携強化

YNUビジネスプラン・コンテスト Y1

「創り出す」を大学の文化にする。

・運営(審査員の選定・交渉、審査ポイント設定を含む)は学生実行委員会 → 学生が運営を行うこともプログラムの一環

* 提案されたプランの例

プラン名 **スケジュールペーパー ～世界一かんたんな手帳～**

概要 世界一簡単な手帳というコンセプトで、財布の中に入るようなスケジュールを製造販売するビジネスプランを提案する。

プラン名 **駅ナカ足湯Café**

概要 「足湯カフェ」とは足湯というリラクゼーション要素とカフェが融合した新しい駅ナカ施設である。忙しい現代のビジネスパーソンに駅ナカという利便性が高い場所で、気軽に、かつ短時間で、リラックス・疲労回復を得られるような価値を提供する。

これまでの成果

- ・学生のキャリアデザインに対する意識の高まり
- ・アントレプレナーシップの喚起
- ・「働く」感覚の体得
- ・必要な「学び」をする意識の芽生え
- ・「発信する」・「行動する」学生の増加

課題

- ・情報・知識の共有化
- ・自らの経験(インターンシップ等)の普遍的なものの特異なものとの判別
- ・意識・行動を継続する仕組み

今後の展開

・コンテンツの充実

知識・理論と実践を結びつける授業等の整備

・副専攻プログラム

継続的な学びを促すと同時に、達成度を評価するシステム → 副専攻プログラム ビジネス・プラクティスを新設。

・ビジネスプラン・コンテストY1の本格化

教育の一環から、起業につながるものへ。

・教育支援サイト

知識・情報の共有と蓄積を行う、学生の疑問に答える、学生のキャリア形成をサポートするサイト

→ 教育支援SNS Y-Career を開設

プラクティス科目群

- ・ 経営者から学ぶリーダーシップと経営理論(必須)
- ・ ベンチャーから学ぶマネジメント(必須)
- ・ 現代の物流
- ・ 社会における実践経験 富丘会メッセージ
- ・ 経営学部インターンシップ
- ・ インターネットコミュニティとEコマース
- ・ ビジネスゲーム
- ・ マイ・プロジェクト・ランチャー
- ・ マーケティング・プラクティス

ビジネス・プラクティス
修了課題

現実のビジネスに触れる。
アントレプレナーシップを理解する。
企画力・発信力・実現力を養う。

問題解決能力・企画
力・発信力を判定

Y-Career 1

Y-Career

メンバー検索 コミュニティ検索 レビュー検索

マイホーム 友達を誘う 最新日記 ランキング 設定変更 ログアウト

ホーム マイフレンド 日記 メッセージ あしあと お気に入り マイレビュー マイページ確認 プロフィール変更

ようこそY-Careerへ！

※ このサイトは横浜国立大学の公式サイトです。学籍番号をベースにしていますから、国大生なら誰でも参加できます。※
 ※ 節度ある利用を心がけてください。利用規約に違反する行為をした場合には、違反者にペナルティを課す可能性があります。※

SEARCH [] 日記 コミュニティ メッセージ WEB

○ マイフレンドにY-Careerのガイドを登録しました。 ○

ガイド(コミュニティ・マネージャー、コミュニティ・アシスタント)は、Y-Careerの案内役です。質問や要望にもお答えします。皆さんのお役に立てれば嬉しいです。

△ 新型インフルエンザに注意！ △

高熱、頭痛などの症状が出た場合は、最寄りの病院や、一般の協力医療機関に事前に電話で連絡し、受診ができるかどうかを確認したうえで、受診の時間帯や受診方法などについて指示を受けてください。

[横浜市保健所緊急情報 8月の感染者発生に対する対応はこちら](#)

★夏の思い出フォトギャラリー★

☆たくさんのご投稿 有難うございました！
 ステキな写真はY-careerのトップ画像に採用 & 賞品を贈呈、現在選考中です。☆

◇Y-careerに新機能が追加されました！◇

携帯からのメール投稿機能・画像UP機能に対応致しました！メール投稿を利用すれば、携帯からのYNU日記も写真付きで書けちゃいます！

携帯でのY-careerの利用は、画面右上の設定変更から登録を行うことですぐ出来ます！

■本学部のビジネス・キャリア教育プログラムが、大学・大学院起業家 教育推進ネットワークで、ベストプラクティス事例として紹介されました■

詳しくは[こちら](#)

▶ INFORMATION



写真を編集

プロフィール確認

tedさん (1609)

予定 [] 10/6(火) [v] 追加 [] [] [] [] [] []

10/4 (日)	5 (月) 🎁yohei さん	6 (火)	7 (水)	8 (木) 🎁tomo さん	9 (金)	10 (土) 🎁アラ さん
-------------	--------------------------	----------	----------	-------------------------	----------	------------------------

月別カレンダー
 表示設定変更

この時期重要なのは、履修登録! [ここ](#)で下の方にある後期のスケジュールを確認! よくあるミスは、登録エラーの見落とし気をつけましょう。
[学生情報システム](#)にもログインして、チェック! 休講情報や求人票が見られます。年間を通しての予定表(学年暦)は[こちら](#)から確認できます。

▶ 最新情報

■Y-careerの使い方

Y-careerを使ってみましょう

Y-career登録時点であなたは5つのコミュニティに参加しています。また、初めから数人マイフレンドが登録されています。登録されている私達はSNSのガイドです。まずは私たちの所に遊びに来てください。問合せも受付けています。これらのコミュニティやガイド活用して、Y-careerを有意義な大学生活に生かして下さい。

【1】友達を探そう! コミュで友達作り。
 なにはともあれ、友人がいなければSNSは面白くありません。

[友達を探そうコミュ](#)で自己紹介してアピール! 気になった人がいたらメッセージを送ってみましょう。

【2】みんなのコミュニティで、情報交換と情報発信を!

[みんなのコミュニティ](#)は、Y-careerのベースコミュ。いろいろなお知らせはここから。

Y-careerに関する質問等も受け付けます。みんなに話したいことを書くのもOK!

ログインした際はかならずチェックするようにしましょう。

【3】おススメの講義!、ゼミナール紹介やサークル紹介コミュへの書き込み

[おススメの講義](#)、[所属ゼミの紹介](#)や[サークルの紹介](#)への質問を書いてみましょう。

この講義のいいところは? とか この講義はここが良い! とか どんなゼミ? とか うちのサークルはこんな雰囲気だよ、とか。

【4】新たなコミュニティへの参加

Y-careerでは、上記のコミュニティ以外にも様々なコミュニティをご用意しています。

あなたにぴったりのコミュニティがきっとあるはず。どんどん参加してみましょう。

[おススメコミュニティ](#)もありますので、活用してみてくださいね。

■一年生の皆さんへ

Y-Career 2

講義の感想の例

Y-Career

メンバー検索 コミュニティ検索 レビュー検索
マイホーム 友達を誘う 最新日記 ランキング 設定変更 ログアウト

ホーム フレンド 日記を読む メッセージを送る お気に入り追加 レビュー マイフレンドに紹介 マイフレンドに追加 紹介文を書く

<7月のカレンダー>

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

▶ 最新のYNU日記

- > [月日は百代の過客にして…?](#)
- > [夏休み。](#)
- > [火曜5限:前期総括?](#)
- > [火曜5限:ビジネスバンク 浜口氏の講演に関して](#)
- > [火曜5限:スリープログループ 高野氏の講演に関して](#)
- > [たまには長文な日記。](#)
- > [火曜5限:ピースマインド 荻原氏の講演に関して](#)

▶ 最近のコメント

- > [一覧を見る](#)

▶ 各月のYNU日記

- > [2009年10月の一覧](#)
- > [2009年9月の一覧](#)
- > [2009年8月の一覧](#)
- > [2009年7月の一覧](#)
- > [2009年6月の一覧](#)
- > [2009年5月の一覧](#)
- > [2009年4月の一覧](#)

▶ うすしおさんのYNU日記 (全員に公開)

<<前のYNU日記 次のYNU日記>>

2009年 07月15日 08:50

火曜5限:ビジネスバンク 浜口氏の講演に関して

1. 成功する人の武器は何か——素直さ(一度は咀嚼できるか)であり受容能力(capacity)である。
2. 成功する企業家の第一条件は何か——意識レベルの高さ。全てを己の責任だと感じるぐらいのもの。
3. 成長し続ける人の特徴は何か——72時間ルールに乗っていること。
4. 成功しつづける人の特徴は何か——感謝できる能力を持っていること。
5. 関わらない経営の世界観とは何か——人生を丸ごと考えること。幸せの追求者になること。

さしずめ、講義はこの流れで説明された後、浜口氏自身の経営哲学や、自己幸福度分析(?)の手法についてレクチャーしていただいた。

浜口氏自身が語っていた「ビジネスの成功は、幸福ではない」には、納得している。

授業で扱った本だが「窒息するオフィス」(ジル・A・フレイザー)の中でも、お金はあるのに、心は貧しいなんていう状態が描かれていたり、かなり前に読んだ本だけ「闘うプログラマー」(著者失念)の中でも、マイクロソフト(マイクロソフトの社員)の、とりわけOS開発室の人間が、どれだけお金を持っているか(主にストックオプション)に触れられていたけど、家庭崩壊、離婚率の高さは異常だったように記憶している。

上記2点の例は、小室社長が言っていたワーク・ライフバランスの不均衡が主な原因だとは思いますが、金=幸福という方程式を、まずブレイクスルーし、幸福について思考するきっかけを作ってくださったように感じる。

個人的に、最も興味深かったのは「生憎の心理」だ。
3要素(経済・行動・社会的ストレス(人間関係)からの自由)が入ったチャートにおいて、何かを獲得する代わりに、何かを諦めるという行動が、無意識下に行われているということを知り、少しはっとした。

全てはトレードオフ。それでは、バランスの良いチャートにはならない。
今一度、自分は何を求めているのか、それでいて、何を幸福と定義し、それをどう追求していくか。
それが自分の中で課題となった。

今回の講義の中で触れられた様々な要素は、私的に「思考(至高)のエッセンス」と感じたように思う。

<<前のYNU日記 次のYNU日記>>

■ Y-careerの使い方

Y-careerを使ってみましょう
Y-career登録時点であなたは5つのコミュニティに参加しています。
また、初めから数人マイフレンドが登録されています。登録されている私達はSNSのガイドです。
まずは私たちの所遊びに来て下さい。問合せも受け付けています。
これらのコミュニティやガイド活用して、Y-careerを有意義な大学生活に生かして下さい。

【1】友達を探そう！コミュで友達作り。
なにはともあれ、友人がいなければSNSは面白くありません。
[友達を探そうコミュ](#)で自己紹介してアピール！気になった人がいたらメッセージを送ってみましょう。

【2】みんなのコミュニティで、情報交換と情報発信を！
みんなのコミュニティは、Y-careerのベースコミュ。いろいろなお知らせはここから。
Y-careerに関する質問等も受け付けます。みんなに話したいことを書くのもOK！ログインした際はかならずチェックするようにしましょう。

【3】おススメの講義！、ゼミナール紹介やサークル紹介コミュへの書き込み
[おススメの講義、所属ゼミの紹介やサークルの紹介への質問](#)を書いてみましょう。
この講義のいいところは？ とか この講義はここが良い！ とか どんなゼミ？ とか うちのサークルはこんな雰囲気だよ、とか。

【4】新たなコミュニティへの参加
Y-careerでは、上記のコミュニティ以外にも様々なコミュニティをご用意しています。
あなたにぴったりなコミュニティがきっとあるはず。どんどん参加してみましょう。
[おススメコミュニティ](#)もありますので、活用してみてくださいね。

■ 一年生の皆さんへ

■ コミュニティについて

CareerEducation

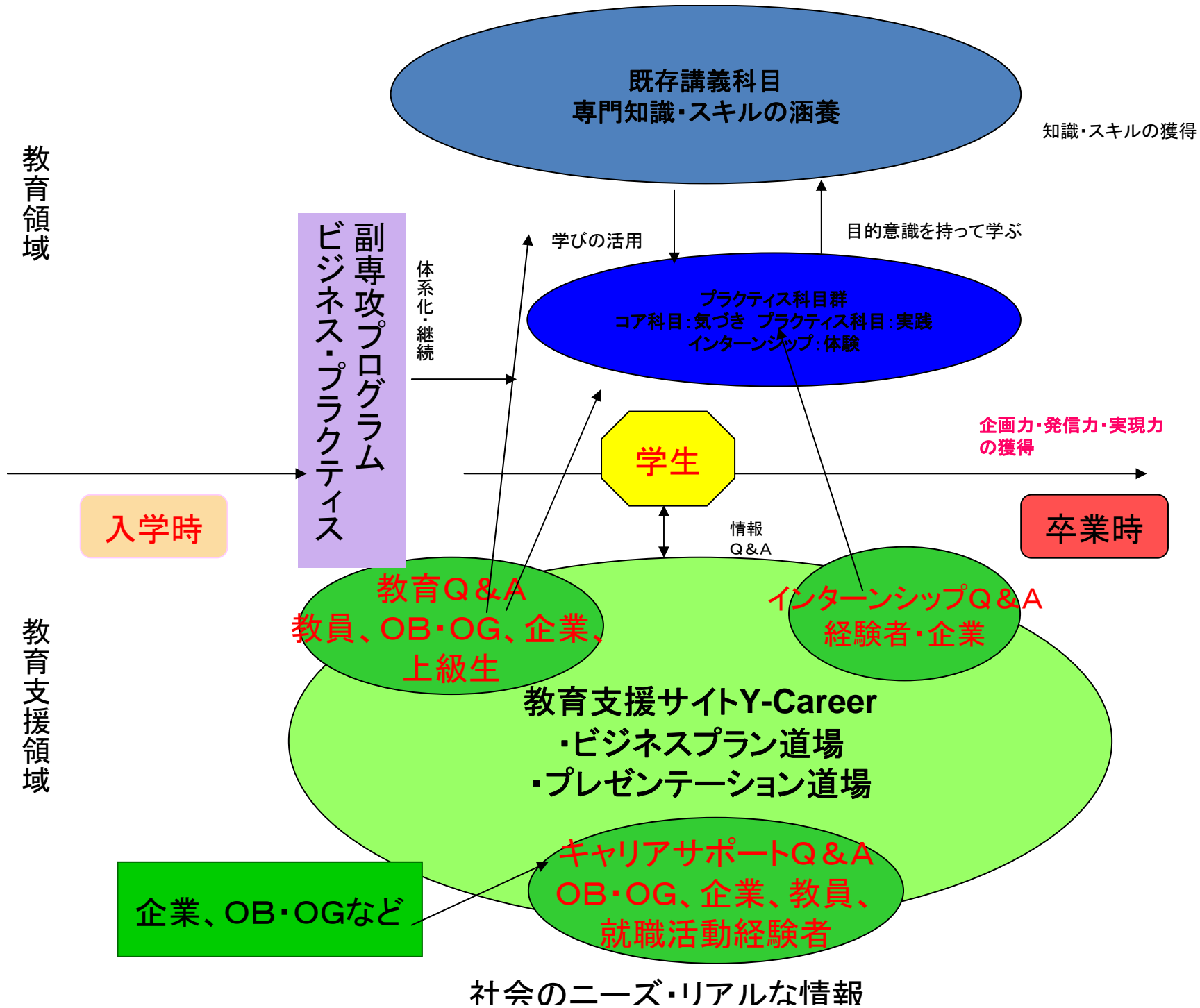
<<前のYNU日記

次のYNU日記>> CareerEducation

Y-Career 3

講義について 語り合うコミュニ ティの例

<p>2009年 04月22日 21:16</p>	<p>2: pokelover 削除</p> <p>えーっと、まだ管理人さん以外書き込んでいないようで不安ですが・・・ 経営システム科学科1年のpokeloverと申します。 以後お見知り置きを。</p> <p>昨日の授業、参加しました。 橋本さんのお話は学生を飽きさせない内容で、大変勉強になりました。 単に経営の方針だけでなく、私たちに大学生活4年間のアドバイスをしてくださったことが強く印象に残っています。 しかし、講演の中で少々疑問に感じた部分もありましたので、ちょっと書き連ねてみたいと思います。</p> <p>講演の中で橋本さんは任天堂やヤマダデンキを例に挙げ、「これらの企業は人間至上主義経営ではない」とおっしゃっていました。 確かに、任天堂の山内博相談役の個人資産は4455億円と(「プレジデント」2009.5.4号)、莫大なお金をため込んでいる事実には変わりはありませんし、下請け会社に利益が5%しか回っていないというのも事実なのだと思います。しかしながら、これらの企業が自社の製品を通じて日本中、世界中の人々に幸福を届けている、というのもまた事実であると思います。このことを考慮に入れたとき、はたしてこの2社は本当に「人間至上主義」経営ではないのか、判断に悩むところです。もちろんこの2社の場合、自社と取引先との関係がwin-winでないところに問題があるのだと思いますが・・・</p> <p>そもそも企業は利益を産まなければならないのが宿命ですから、単純に「儲けてるから」という理由では批判の材料にはならないと思います。アイデアインターナショナルさんも利益を得ているからこそ寄付などの社会貢献活動ができ、新たなCSR事業に踏み出せるのであり、講演の中でそれについて言及されなかったのが少々残念だった気がします。</p> <p>いろいろ生意気なことを言っしまい、申し訳ありません。</p>
<p>2009年 04月23日 08:44</p>	<p>3: ted 削除</p> <p>pokeloverさん</p> <p>tedこと井上です。</p> <p>全然生意気ではありませんよ。</p> <p>最初の疑問は、むしろ、多くの人が持ってよい疑問です。また、2つめの方は、誤解、もしくは伝わっていないことがあるようです。この2つについては、関連しているので、まとめて簡単に(それでも長くなる)私の考えを述べます。</p>



高いエンプロイアビリティの形成
起業家精神の体得

最後に

起業家教育には、産学連携はもちろん、
大学間連携が必要と考える。

例えば

- ・連携授業
- ・共同プロジェクト

マイプロのようなプロジェクト型授業は、大学間の共同プロジェクトによって発展する可能性がある。

- ・情報交換・共有・相互発信の仕組み

Y-Careerのような大学SNSを連結した大学連合SNSを！

もちろん、オープン部分と各大学でクローズドな部分を併設する。

有り難うございました。